



29年春。誕生！ 新・秩父宮記念 市民会館

プライベート企画運営委員 を募集します！

～一人一人がプロデューサー！～

新しい市民会館のPRと誕生への機運を盛り上げるプライベートを一緒に企画しませんか？

イベント運営に興味のある方、人となることが好きな方など、ぜひご応募ください。

参加条件 個人での申し込みのみ

定員 20人程度

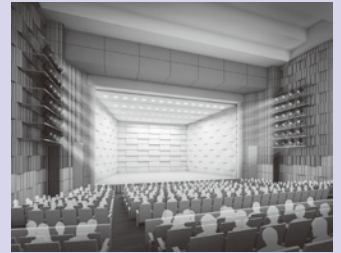
応募方法 住所、氏名、年齢、連絡先、やってみたいイベント等を記入した用紙をご提出ください。

申込締切 4月8日(金)まで

市役所本庁舎および 市民会館の建設に向けて

冬の間、大雪に見舞われるなどで工事作業の中断もありましたが、現在、地上部分の鉄骨工事を急ピッチで進めています。

構内の既存樹木については、保存を基本としていますが、工事の



[大ホール フォレスタ]
コンサート、オペラ、バレエ、伝統芸能など幅広い演目に対応した多目的ホール(1,007席)



[けやきフォーラム]
4室に分割して使用できる多目的室

●説明会を開催

プライベート開催の目的や取り組み方について説明します。

と き 3月18日(金)午後7時～

と ころ 歴史文化伝承館2階庁議室
申・問 生涯学習課 ☎23-2294

進行にあたり、直接建物に当たるケヤキの枝や、密集している樹木、老木化している桜などは、やむを得ず剪定、伐採等を行っています。

新年度では、新たに駐車場や植栽等を整備する外構工事を発注予定です。施設の完成に向けて、市民の皆さんのご理解、ご協力を改めてお願いします。

問 市役所本庁舎等建設推進室
☎26-6872 **FAX** 22-1363



「和を以て
貴しと為す」

「心のバリアフリー」 を育む

市長 久喜 邦康

皆さんは「ボッチャ」という競技をご存じでしょうか？重度障がい者も楽しめるように開発されたスポーツで、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。ペタンクとルールが似ているようです。

この「ボッチャ」を通じて、障がい者理解（心のバリアフリー）の推進を図る取り組みに今年度は力を入れ、先日、体験学習会と専門家による講演会を荒川地区の小



中学校で行いました。障害のある子・ない子が一緒に楽しみ、相互理解や思いやりの心を育むきっかけとなってほしいと思います。

「ボッチャ」は1988年ソウル大会からパラリンピックの正式種目となったそうですが、今年度は、リオデジャネイロ大会が行われますので、「ボッチャ」にも注目していただければと思います。

「パラリンピックの父」といわれるドイツのグットマン博士が「失われたものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ！」と言ったそうです。逆境に負けずひたむきに努力してきた選手たちが、障害の有無にかかわらず全力で競技する姿は、私たちに大きな感動を与えてくれるでしょう。

このような感動やさまざまな競技を通じて、秩父の子どもたちが障がい者理解（心のバリアフリー）の意識を持ち、健やかに学び育ち、将来の秩父を担う人材となるよう、市政の重点施策である基礎学力の向上も含め、支援を充実してまいります。

お気軽にお越しください！ ふらっと市長室

●3月18日(金)
9:00～10:00 荒川総合支所
11:00～11:30 伝承館1階

●4月20日(水)
9:00～10:00 吉田総合支所
11:00～11:30 伝承館1階

※日程は変更となる場合があります。

問 秘書広報課 ☎22-2505